2025 年 2 月

「2025 年タイ経済の展望」

今回は 2025 年のタイの経済の展望についてレポート致します。

今年のタイの経済成長率について、国際機関や政府等の予測をまとめると下記の通りとなっています。

世界銀行（2024年10月発表）	＋3.0%
国際通貨基金（IMF）（10月）	＋3.0%
タイ中央銀行（10月）	＋2.9%
タイ国家経済社会開発委員会（NESDC）（11月）	＋2.8%

「＋3.0%」かそれをやや下回る数値となっており、大きな差は見られません。2023 年末の下記機関の 2024 年の予想もおおむね「＋3.0%あるいはやや下回る」でしたので、良くも悪くも昨年と変わらないと予測されているようです。

また、2025 年の経済動向に影響を与えうるトピックについては下記 2 点が注目されています。

① トランプ政権での対中国関税引き上げ

就任前の宣言通り対中国の関税が引き上げられれば影響が大きく、中国製品が米国から締め出される代わりに ASEAN が「漁夫の利」を得ると考えられます。しかし、タイだけの視点で見た場合は、主な品目別（対米国？）輸出額の推移をみると、トランプ大統領の政策によりマイナスの影響が見込まれる自動車や電子・電機機器は近年増加をしてきた一方、大きなプラスの影響が見込まれる繊維・衣料は低迷しており、恩恵を多くは得られないと考えられます。このため、タイとしてはトータルでマイナスの影響が懸念されます。

②対中国との関係

中国自体との貿易関係についても影響が見込まれます。近年米中貿易摩擦及び中国経済の低迷を背景に、国内で過剰在庫を抱える中国から低価格の製品がタイを始め ASEAN 諸国へと流れてきています。さらに景気の足踏み状態が続いている中国の需要の弱さに加えて、元々タイから輸入していた化学製品等について、価格競争力に勝るベトナム等からの輸入にシフトしているといった背景もあり、タイから中国への輸出は伸び悩むと見込まれます。実際、現在でもタイの対中国貿易収支赤字は、ここ３年で２倍にまで膨れ上がっています。

自動車業界においても、金融機関の融資審査が緩和することで多少は（プラスの？）影響があるかもしれませんが、基本的に生産が顕著に回復する材料には乏しく、中国勢の生産目標達成のために価格引き下げが続くと見込まれる事から、日系にとってはまた正念場となる年が続きそうです。

ただ、あえて俯瞰してみるとこういった短期的な危機はタイでは日常茶飯事という面もあり、政府支出や海外からの投資等に支えられ、引き続き同程度の成長が見込まれるというのがメインシナリオとも考えられます。

大阪産業局・タイビジネスサポートデスク　現地レポート

2025 年 2 月

↑中国の新年・春節はタイでも休日ではないものの、パレードやショッピングモールでのイベントが行われました。